



# ワクチンの受け方ガイド 天塩 ver.

ある子どもの予防接種、時期や間隔などややこしく感じると思っていますので、  
予防接種の基本知識とおすすめスケジュールをご案内いたします。



## まず、予防接種の基本知識 (さらっと読み流して良いです☺)

### ● 予防接種には定期予防接種と任意予防接種があります

定期予防接種：予防接種法という法律に基づき、**市町村が主体**となって実施するものです。

保護者は子どもに受けさせるよう努める義務があります。

定期予防接種の種類はだんだんと増えてきており、**ほとんどの予防接種が定期予防接種**です。

**費用は天塩町が負担しているため、無料で受けられます。**

任意予防接種：国が使用することを認めているものの、予防接種法で規定されていないワクチンで、

**希望者が各自で受けるもの**です。**おたふくかぜ、インフルエンザ**があります。

費用は自治体により異なりますが、**天塩町はおたふくかぜ（1回目のみ）の費用を全額助成**しています。

### ● 同時接種について

天塩町では**同時接種可能**ですが、接種事故防止の観点から、同時に接種できるワクチンの**組み合わせが決まっています**。

### ● 予約について

半年に一度『予防接種日程表』を発行して各家庭へ送付しています。日程表に書き込まれている予防接種の日を見て**役場に電話で予約**する形を取っています。

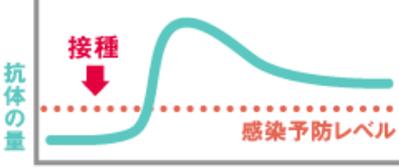
カレンダーに書かれていない種類のワクチンでも、前もって予約していただければ接種することが可能です。兄弟で別々の種類のワクチンを同日に接種することもできますのでご相談ください。

**予約は接種日の1週間までに福祉課ふれあい係（直通：2-1728）まで申し込みください。**

### ● ワクチンの種類と接種間隔について

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。

※田辺製薬 ワクチン net より引用

	製造方法	接種回数と抗体の量
<b>生ワクチン</b> 経口：ロタ 注射：BCG、おたふく、 水痘、麻しん風しん 接種後、次の注射生ワクチン を接種するには <b>27日以上</b> 空 ける必要があります	病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られています。 	毒性を弱められたウイルスや細菌が体内で増殖して免疫を高めていくので、接種の回数は少なく済みます。 
<b>不活化ワクチン</b> 注射：ヒブ、肺炎球菌、 B型肝炎、4種混合 日本脳炎、 インフルエンザ	病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせた（不活化、殺菌）ものを原材料として作られています。 	自然感染や生ワクチンに比べて生み出される免疫が弱いため、 <b>何回か追加接種が必要</b> になります。 

# おすすめスケジュール (ここからが本番☺)

※ワクチン名の色は予診票の色と合わせています。

月齢・年齢	予防接種の種類	注意点
生後2ヶ月から	ヒブ① 肺炎球菌① ロタ①	※ <u>ロタ①は生後14週6日までに</u>
生後3ヶ月頃から	4種混合① B型肝炎①	
	ヒブ② 肺炎球菌② ロタ②	※ <u>ロタ②はロタ①から4週あける</u>
生後4ヶ月頃から	4種混合② B型肝炎②	
	ヒブ③ 肺炎球菌③ ロタ③	※ <u>ロタ③はロタ②から4週間あけて、生後32週0日まで</u>
生後5ヶ月頃から	4種混合③	※ <u>4種混合③は4種混合②から20日以上あける</u>
	BCG	※BCGは生後5~7ヶ月の間に
生後6ヶ月以降からインフルエンザワクチンが打てるようになります		
生後7ヶ月頃	B型肝炎③	※ <u>B型肝炎③はB型肝炎①から20週以上あける</u>
1歳になったら	ヒブ④ 肺炎球菌④	※ <u>ヒブ④はヒブ③から7ヶ月以上あける</u>
	麻疹風疹①(生)	※ <u>麻疹風疹①は2歳の誕生日前日までに打つ</u>
	水痘①(生) おたふく①(生)	※ <u>注射生ワクチン同士(麻疹風疹①と水痘・おたふく①)は4週あける</u>
	4種混合④	※ <u>4種混合④は4種混合③から1年以上あける</u>
1歳半頃	水痘②(生)	※ <u>水痘②は水痘①から6ヶ月以上あけ、3歳の誕生日前日までに打つ</u>
3歳になったら	日本脳炎①	
	日本脳炎②	※ <u>日本脳炎②は日本脳炎①から1週間あける</u>
4歳になったら	日本脳炎③	※ <u>日本脳炎③は日本脳炎②から最低6ヶ月(標準1年)あける</u>
年長児になったら	麻疹風疹②(生)	
5~6歳の間に <u>おたふく②</u> を打つことができますが、費用は <u>自己負担</u> となります		
9歳になったら	日本脳炎④	
6年生になったら	2種混合	

ご覧のとおり、大変なのは1歳過ぎ(特に生後半年度)までです。

予防接種は感染症から子どもを守るものですので、接種可能な月齢に入ったらなるべく早期に打つことが重要だとされています。母子手帳の後ろのほうに予防接種の記録がされるページがありますので、定期的にご確認・お申込みいただき、分からないことがあればいつでも保健師にご質問ください。

3歳になってから接種する日本脳炎以降のものは、その都度案内文と予診票を郵送してご案内しています。

【お問合せ先】天塩町福祉課ふれあい係 TEL: 2-1728(福祉課直通)